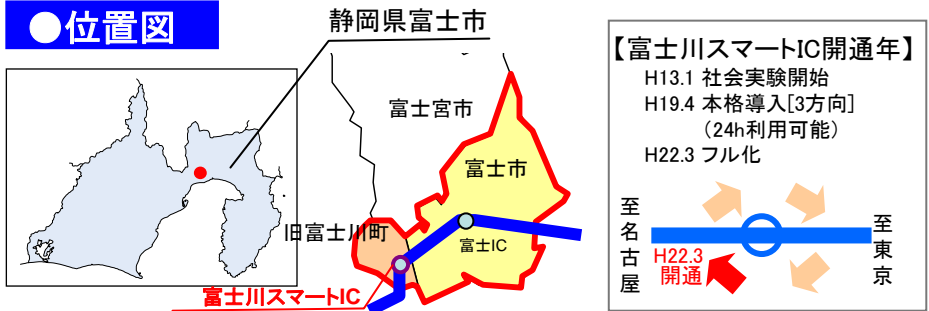


富士川スマートIC設置により地域医療のサービスが向上

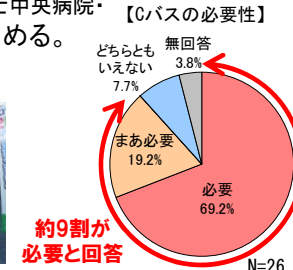
- ・東名高速 富士川サービスエリアにスマートICを平成19年4月に設置。
- ・平成21年12月から富士川スマートICを活用したCバスを運行し、通院、市役所等への地域住民の移動手段を確保。
- ・富士川スマートICから高速道路を利用した救急搬送が可能となり救急搬送中により安全な応急処置が可能。更に患者の負担も軽減。
- ・富士川スマートICのフル化に伴い利用台数がさらに増加。また、隣接するハイウェイオアシス富士川楽座の利用客も増加。

●位置図



●Cバスに関する利用者の声

- 月平均利用者数: 389名 (H21.12~H22.3)
- 富士川楽座と富士市間(富士中央病院・市役所等)の利用が大半を占める。



東名を通ることにより乗車時間が短く感じ、富士川と富士を行き来する方にとっては便利だと思う。

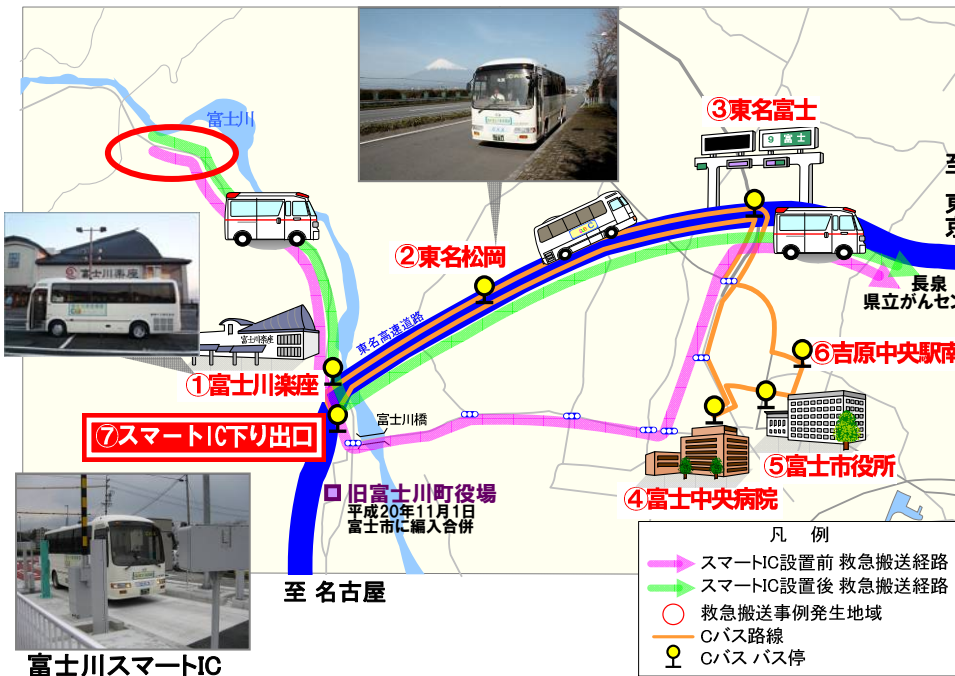
●救急搬送時のスマートIC利用

- スマートICから高速道路を利用することが可能となり、患者への負担の少ない救急搬送が可能となった。

- ・高速道路は揺れが少なく、一定速度での走行が可能であり、救急搬送中により安全な応急処置が可能。
- ・また、患者様の負担も軽減し、血圧など容態の安定化が期待される。



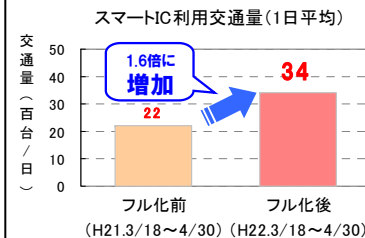
出典: 富士市消防本部ヒアリング



富士川スマートIC

H22年3月フル化により 利用台数が大幅増加

- ・富士川スマートICのフル化に伴い、利用台数が1.6倍に増加。



富士川楽座の利用者増加

- ・富士川スマートICに隣接する富士川楽座の客数がフル化前と比べ約2割増加。
- ・富士川楽座の一般駐車場に関西、名古屋方面からの車が増加

